

入札説明書等への質問の回答別紙

「コミッションング」の定義は、落札者選定基準 p.4 のとおりとする。

「コミッションングオーソリティ」は、コミッションングを行う責任者であり、事業の実施過程に直接関わらない第三者をいう。一般的な「コミッションングオーソリティ」の定義を本事業にあてはめると後述のとおりとなる。しかしながら、本事業においては、コミッションングオーソリティは期待水準としており、以下の目的をひとつでも多く満たすことを期待している。

目的

- ・ 事業実施に直接かかわり監視や命令をする立場ではなく、設計、施工が確実に、かつやり直しや遅滞がなく行われるよう、全体の指導者として活躍すること。
- ・ 性能という観点から事業を鳥瞰し、設計、施工に関するアドバイスを行うこと。
- ・ 工期・費用などが無駄にならないように最適な解決策を見いだすよう、全体的な視点をもって設計・施工に協力すること。
- ・ 設計・施工・管理を一貫して担当し、全体的に合理的な判断を下しながら最適な性能を確保するよう協力すること。

「コミッションングオーソリティ」

資格

個人または組織に所属してコミッションングを実施する者は、建築士法に基づく建築設備資格者(建築設備士)またはこれと同等と認定された資格と経験を有し、さらに技術士の資格を有することが望ましい。そしてコミッションングオーソリティとして相応しいものと社会的に認知される者でなければならない。その経験分野としては設計・工事監理・建設総監督(CM)・施工管理・制御設計・運転保守管理の専門的経験等が該当し、そのうち2以上の経験を有することが望ましい。また、コミッションング過程の各フェーズ・各段階にて業務分担を引き継ぐことも可能であるが、引継ぎが完全に行われることが必要である。

第三者性

本事業の実施過程に直接関わりがあってはならない。

責務

検証を行った設備が、検証過程の不備が原因で所定の性能を発揮しなかった場合は、その検証内容に関して責任を持って再検証しなければならない。但し、やむを得ない事情、文書化された免責事項が存在する場合はこの限りでない。

文書化

コミッショニングの各過程は、文書として保管しなければならない。

役割

コミッショニングオーソリティの基本的な役割は以下のとおりとする。

- 1) コミッショニングチームを組織し、指揮する。
- 2) コミッショニング計画書を作成する。
- 3) コミッショニング会議を主催し、会議記録を迅速に作成・配布する。
- 4) 企画・設計・施工・引渡し各段階の性能検証業務を推進する。
- 5) 供用可能確認検査時の試験・調整結果の確認を行い、機能性能試験の実行を指揮し、これを総括する。
- 6) 保守監理者の教育訓練計画を立案し実行する。
- 7) 引渡し後段階の機能性能試験を指揮し、性能評価を確定する。
- 8) コミッショニング報告書およびシステムマニュアルをまとめて作成する。